

協働のまちづくりネットワークみどり環境Group  
「みよしグリーンサポート隊」活動シート No.150

- 1 日 時 令和6年10月20日(日曜日) 9:00~12:00  
2 活動場所 トラスト14号地(県有地)C・D地区  
3 集合場所 緑地公園前(三芳町運動運動公園グラウンド東側)  
4 活動目的 落葉掃きをしやすい環境にする  
5 活動内容 枯枝集め等の林内整備  
6 作業レベル 中級  
7 担当世話役 原  
8 道 具 ヘルメット、手袋、マスク、ノコギリ、熊手、紐、ゴミ袋、救急箱  
9 荒天対応 急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします  
10 トイレ着替 芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

- 8:30 受付  
8:50 世話役・関係者打ち合わせ  
9:00 集合  
9:05 開会、出欠確認、作業説明ほか  
ストレッチ  
9:15 作業開始(適宜休憩)  
11:30 作業終了・用具確認  
11:40 終了

作業内容

①折れ枝や枯れ枝の収集

- ・林内の太さ10cm未満の折れ枝や枯れ枝を、1m以内の長さで集め、紐でしばって、遊歩道沿いの柵の内側に置いてください。後日環境センターへ搬出します。
- ・太さ10cm以上の枝は、環境センターでは処理できませんので、林内に積み置きしてください。

○安全な活動について

森林での作業は、すがすがしく開放的な気分を味わえますが、自然の中での活動には危険がつきものということを忘れずに行動しなければなりません。「森林がラテアは危険だ」と尻込みするのではなく、活動中の危険を想定して危険を避けるための知識や経験を身に付ければ、自然の恩恵を満喫しながら、楽しい森林がラテア活動ができます。安全に配慮し、周囲への注意、安全な作業方法を身に付けましょう。

木は何歳まで生き続ける？木の寿命の話

しめ縄の大木は神社でよく見る光景ですが、いわゆる御神木は樹齢が数百年という古木であったりします。木はどれほど生き続けるのでしょうか？今日はそんな木の寿命の話です。

世界一長生きな木は？

現在確認されている単独な木として世界で一番長生きしているのは米国カルフォルニア州の国立公園内にあるブリッスルコーンパインと言われ、樹齢は推定4800年と言われています。その木が芽生えたときには日本はまだ縄文時代の真っ只中です。

日本の長寿の木といえば、屋久島の縄文杉や大王杉で推定2500~2700年くらい。世界にはまだまだ見つかっていないだけで、これ以上に長生きな木があるかもしれません。

高木は長生きで低木は比較的短命？

長生きな木を見ると、スギやヒノキ、ケヤキなどどれも高木である傾向があります。世界一高く伸びるセコイヤも非常に長寿で、2500年を超えるものがあります。一方低木は一般的に寿命が短いように感じられます。トラスト14号地にも自生する落葉低木のタラノ木は寿命が10年ほどで、もしかしたら一番短い寿命の木になるかもしれません。モモ・クリ・カキは約50年、ソメイヨシノは60~80年ほどともいわれます。木の寿命については様々な考えがありますが「寿命は無い」ともいえるかもしれません。太い幹の中で生きている細胞はごくわずか。動物のように一部が不全になると死に至るのとは違い、一部の細胞さえあれば樹木は生命を維持できるのです。

次回活動

- 日 時 令和6年11月17日(日)  
午前9時~正午頃まで  
場 所 トラスト14号地(県有地)(C・D地区)  
内 容 落ち葉掃きに向けた林内整備